

## ～オンライン 金融セミナー～

～地域金融機関のリテール営業推進担当者が知っておきたい～

### 『公金受取口座登録制度が

### 公的年金取引推進戦略に及ぼす影響』

●日 時 令和5年10月26日(木) 14:00～16:00

- 接続開始 13時30分から接続開始
- 会場 (株)ビジネス教育出版社 セミナールームより配信  
※ZOOM ウェビナーにて発信します
- 対象者 金融機関 リテール営業企画部門・シニアマーケット担当者
- 受講料 6,600円
- 定員 60名(定員になり次第の締め切りとなります。)
- 申込 裏面の「セミナー参加申込書」または弊社 Web サイトにてお申込みください。  
受付完了後、開催3日前までに、ズーム URL/パスコード、セミナー資料をメールにてお送りいたします。

講師:杉本 康雄 (元みちのく銀行 頭取)

#### 1. 公金受取口座制度の概要

#### 2. 公金受取口座は個人取引のメイン化推進に

- ・公金受取口座登録済 お客様へのアプローチ
- ・所属金融機関に公金受取口座が登録されていない場合
- ・世代別の金融取引と公金受取口座

#### 3. 年金受給者への「年金受取口座」を公金受取口座登録への通知について

- ・「行政機関等経由登録の特別制度について
- ・年金受給者への対応 口座指定がある場合/ない場合

#### 4. 公的年金口座獲得推進はどうすべきか

- ・指定替え推進はできるのか/新規受給者向けの推進方法は

#### 【講師略歴: 杉本 康雄】

昭和44年入行。平成元年根城支店長歴任後、営業推進部長、平成17年に代表取締役 頭取に就任。平成25年代表取締役会長、その後会長、相談役を歴任後、退職。銀行の営業推進部時代に、年金推進体制を構築し、その後も年金をリテール営業の中心に据えた営業戦略で業績を向上させる。現在も、地域金融機関に時代の変化に伴うリテール営業のアドバイスを行っている。